

<http://www.pocketcard.co.jp>



＜トップページ＞

IR情報、
IRに関するお問い合わせに
当社ホームページをご活用ください。

IRライブラリー

決算資料、年次報告書等がご覧いただけます。

IRお問い合わせ

個人投資家の皆さまからよく寄せられる質問をご紹介します。

TOPICS

当社の最新情報をご覧いただけます。

●IR情報配信モバイルサイトのご案内

会社概要・事業内容・業績概況など、基本的な企業情報が携帯電話からご覧いただける企業情報開示サイトを開設いたしました。

＜QRコード＞



QRコード対応携帯電話では左のQRコードを読み取るだけで携帯サイトにアクセスできます。
モバイル用URL：
<http://m-ir.jp/c/8519>



当社は4年連続で大和インベスター・リレーションズ(株)主催の「インターネットIR（投資家向け広報）サイト優秀企業賞」を受賞いたしました。

株主の皆さまからの声をお待ちしております

当社では、株主の皆さまからのご意見・ご質問をお受けしております。株式手続き関係のご質問や、その他のご意見、ご要望がございましたら、同封のアンケートハガキ、またはeメール等でお気軽にお寄せください。

お問い合わせ先 e-mail:koho@pocketcard.co.jp



証券コード：8519



POCKET CARD



第27期 中間報告書

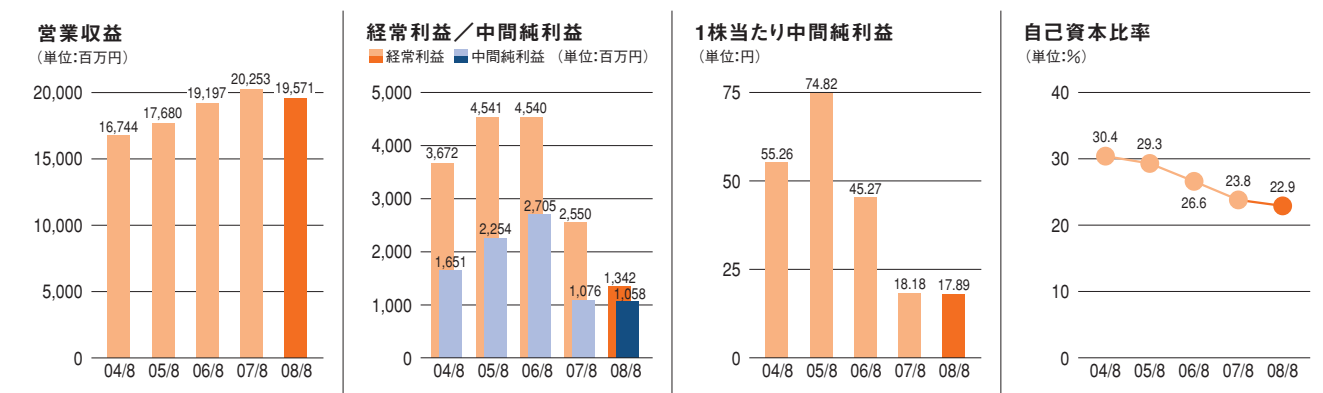
2008年3月1日～2008年8月31日



科目	第25期中間期 (06/3~06/8)	第26期中間期 (07/3~07/8)	第27期中間期 (08/3~08/8)
営業収益 (百万円)	19,197	20,253	19,571
営業利益 (百万円)	4,545	2,555	1,338
経常利益 (百万円)	4,540	2,550	1,342
中間純利益 (百万円)	2,705	1,076	1,058
総資産 (百万円)	193,257	209,900	220,367
純資産 (百万円)	51,463	49,964	50,390
自己資本比率 (%)	26.6	23.8	22.9
1株当たり中間純利益 (円)	45.27	18.18	17.89
1株当たり中間配当金 (円)	8.5	8.5	4.25

(注) 1.当社は2006年3月1日付で、1株につき2株の割合で株式分割をしております。
2.当社は前第3四半期より連結財務諸表を作成しておりますので、前中間期までは個別業績の数値を掲載しております。

5年間の業績推移 (中間期比較)



(注) 1.当社は2006年3月1日付で、1株につき2株の割合で株式分割をしております。
2.当社は前第3四半期より連結財務諸表を作成しておりますので、前中間期までは個別業績の数値を掲載しております。

収益構造の抜本的な変革と ローコストオペレーションの徹底により 企業価値の持続的向上を目指してまいります。

当中間期におけるクレジットカード業界は、貸金業法が段階的に施行される中、各社の与信厳格化に伴って貸金業マーケット自体が縮小し、またメガバンク主導の業界再編の動きが活発化するなど、引き続き厳しい事業環境が続きました。

こうした状況のもと、当社グループは「ビジネスモデル変革の実現とオンリーワン・サービスの進展」をスローガンとして、プロセッシング事業の本格稼働等を通じて収益構造の変革を進めたほか、貸金業法の完全施行を見据えた事業運営体制の確立に取り組みました。また、コーナン商事株式会社との提携による事業者向けクレジットカードの発行や、アセットガーディアン株式会社との提携による来店型保険相談ショップの開設など、営業ネットワークの拡大と会員サービスの拡充にも注力いたしました。

これらの結果、当中間期の連結業績は、営業収益195億71百万円、営業利益13億38百万円、経常利益13億42百万円、中間純利益10億58百万円となりました。中間配当金につきましては、1株につき4.25円とさせていただきます。

利息返還請求の高止まりや貸付金利の引き下げなど、クレジットカード業界の事業環境は今後も厳しい状況で推移するものと思われます。しかし当社グループは、多様かつ高品質なクレジットサービスの創造を通じて顧客満足度の最大化を図るとともに、プロミス株式会社や伊藤忠商事株式会社との連携を基盤とした新たなビジネス機会の創出を追求し、中期経営目標である「Only One 企業の創造」と企業価値の持続的向上を実現してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

都 筑 誠

特集：クレジットカードビジネスの仕組み

現在、国民1人当たり2枚以上所有していると言われるクレジットカード。利用範囲も通常のショッピング利用からインターネットショッピングや保険料・公共料金の支払いなどへ拡大し、私たちの生活に欠かすことのできない便利な決済ツールとなっています。しかし反面、クレジットカードビジネスの構造や決済のしくみについては意外と知られていないのが実情のようです。今回は改めてクレジットカードの基本的な仕組みについてご紹介します。

ポイント1 クレジットカード契約の仕組み

いつも何気なく使っているクレジットカード。でも、このカードがお金と同じように使えるのは、様々な契約の力が働いているからなんです。

まず一つ目の契約は「加盟店契約(立替払契約)」。カード会社とお店(加盟店)が結ぶ契約で、加盟店はクレジットカードを利用する人に対して現金と同じ様に商品・サービスの提供を行うことや、カードの利用代金はカード会社が会員に代わって加盟店に支払うことなどが取り決められています。

二つ目の契約は「会員契約」。これはカード会社とカード会員が結ぶ契約で、カード会社は会員に対しクレジットカードを貸与すること、会員はカードを適切に管理・使用すること、その他支払方法の種類、金利・手数料等について取り決められています。

「会員契約」と「加盟店契約」。この二つの契約の存在により、お店でクレジットカードを提示するだけで、手軽に商品やサービスの提供を受けることができるんです。

ポイント2 システムの仕組み

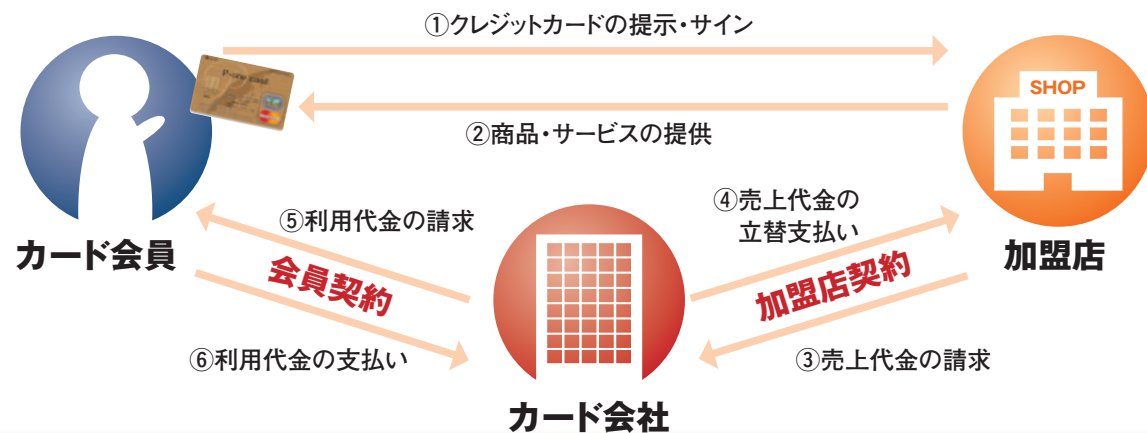
お店でクレジットカードを提示すると、ピット機械に通して売上票が出てきてサインをしたら決済完了!なのですが、この短いやりとりの間に実は様々なシステムが働いているんです。

安全なクレジットカード決済を行うには、お店で提示されたカードが、盗難や紛失、成りすましなどの不正によるものではないか、決済ごとにしっかりと確かめる必要があります。

これを行う上で活躍するのが、お店でよく見るカード決済の端末。機械、名称を「CAT(キャット)」と言うのですが、カードをこの機械に通して売上票が出てくるまでの数秒間に、「CAFIS(キャフィス)」と呼ばれるネットワークシステムを通じて、「このカードが無効カードでないか、有効期限は切れてないか、利用限度額は超えてないか」などの信用照会をカード会社に行い、決済が適正なものであるかを毎回チェックしているんです。

目に見えないところで働くCATやCAFISなどのクレジットカードシステムによって、健全なクレジット社会が守られているんです。

クレジットカード決済の仕組み



ポイント3 クレジットカード券面の仕組み

何の変哲もないプラスチックのカード。でもその1枚のカードの中には、カードの偽造防止や世界中どこでも一目でクレジットカードだと認識できるための様々な工夫や技術が詰まっているんです。

このページでは、クレジットカード券面に潜む様々な仕組みをご紹介します。

磁気ストライプ

磁気ストライプとはクレジットカードの表裏両面に埋め込んである磁気テープのことで、この磁気テープに、カード番号や有効期限などの会員情報が記憶されています。CATやATMなどの端末機は磁気ストライプの中のデータを読み取り、処理を行います。

ホログラム

ホログラムとは、クレジットカードの右端部分にある立体的に見える地球やハトなどのマークのことです。ホログラムの複製には高度な印刷技術が必要であり、カードの偽造防止を目的に使用されています。

サインパネル

カード裏面の署名欄のことで、売上伝票に記載された署名とサインパネルに記載された署名とを照合することで、カードの利用者が本人であるかを確認し不正利用を防止します。署名は漢字でもローマ字その他でも可能ですが、本人の自署であることが必要です。

ICチップ端子

磁気ストライプと同様にカード情報を記憶する装置であり、従来の磁気ストライプに比べ記憶容量が大きく、暗号化機能等を持ちセキュリティ一面にも優れています。またセキュリティ面以外にも、高機能のICチップを搭載することにより、暗証番号入力によるサインレスでのお買い物や不正利用の防止を実現することができます。

カード番号

カード番号は16桁(AMEXは15桁、ダイナースは14桁)の数字で構成されており、カード会社が各カード会員を識別することを目的に、クレジットカードごとに固有の番号を割り当てています。カード番号の1桁目の数字は、ISOにより国際ブランドごとに決められています。

エンボス

エンボスとは、カード表面の凸部の刻印のことで、通常カード番号、有効期限、氏名が表示されています。クレジット決済端末を設置していない加盟店では、決済時にエンボス加工した文字を伝票等に転写し決済を進めることがあり、その際にエンボスが利用されることになります。現在では磁気ストライプやICチップによる処理が一般的となり、エンボス加工を施していないカードも出回るようになっています。



「保険 de あんしん館 新大阪店」OPEN

当社の完全子会社であるポケット・ダイレクト株式会社は、伊藤忠商事株式会社が出資する保険代理店アセットガーディアン株式会社と提携し、2008年6月28日に来店型保険相談ショップ「保険 de あんしん館 新大阪店」をオープンしました。来店型保険相談ショップとは、お客さまとの対面によるカウンセリングを通じ、一人ひとりのライフプランに沿った最適な保険をご提案していくものであり、現在大きな注目を集めている保険販売形態です。

保険商品はクレジットカードビジネスとの親和性が高く、当社においても以前から注力してきた分野ですが、新たに来店型保険相談ショップでの取り組みを開始することにより、一層のお客さま満足度向上を図るとともに収益の拡大を目指してまいります。

Topics 1



店内風景

保険 de あんしん館

「コーナンPRO Business Card」を発行

コーナン商事株式会社が建設・設備等事業者向けに展開する専門店「コーナンPRO(プロ)」の来店客向けに、MasterCardブランド付き事業者向けクレジットカード「コーナンPRO Business Card」を2008年6月13日に発行開始しました。

事業主の多様な資金需要に柔軟に対応することを目的に、ご利用からお支払いまでの期間を最長3ヶ月と通常のカードより長く設定しております。また代表者の与信の範囲内で従業員向けカードを発行することができ、精算処理の一本化を実施することも可能な上、通常のビジネスローンカードと異なり、ショッピングでポイントが貯まるなど様々な特典が付与されています。

Topics 2

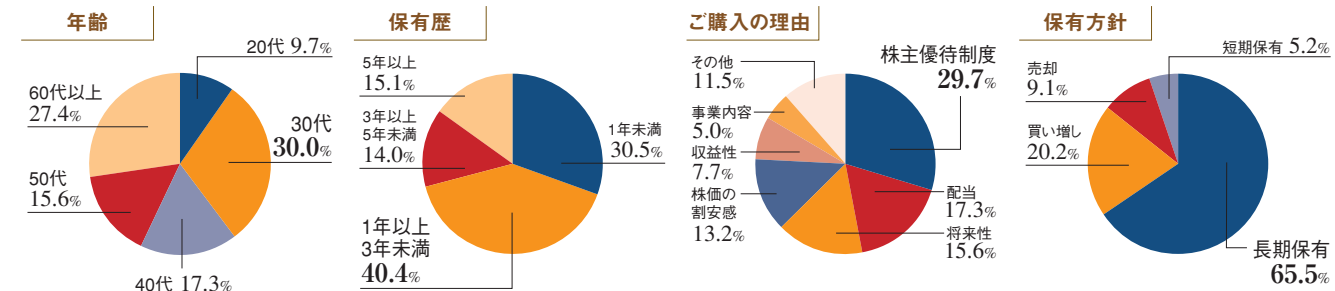


コーナンPRO Business Card

2008年5月末に実施させていただきました株主アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。回答数は1,000件に達し、大変多くの株主さまからご意見を頂戴できましたことを、厚く感謝申し上げます。ここに、いただきましたアンケート結果の一部をご報告させていただきます。

■ご回答いただいた株主さまの状況

[有効回答数：1003件]



■Q & A

Q

株主優待制度の申し込みは、毎回申込書の返送をするのでとても面倒です。一度の申し込みで済むようにはできませんか？

A

2005年中間期より開始した「株主優待制度」については、毎回多数のご意見、ご質問をいただいております。中でも申し込み方法についてはより簡便な方法への変更を希望される声が多数寄せられました。

当社では、この件について対応を検討させていただいた結果、今回(2008年8月末)の株主優待制度から、一度お申し込みいただいた株主様については次回以降、自動的にポイント付与ができるようお申し込み方法の改定を実施いたしました。

今後も株主の皆さまにとって利便性の高い株主優待制度の実現を目指してまいります。

※「ポイントの自動付与には、直近の優待制度にお申し込みいただいた株主さまのみを対象」、「直近の株主優待制度のお申し込みから住所、カード番号等に変更がない」など、注意事項がいくつかございます。詳しくは「株主優待申込書」をご確認ください。

Q

「ローコストオペレーションの推進」とは具体的にどのようなものですか？

A

既の実施しているものでは、郵送費や印刷コストのかからないオンライン明細化への取り組みや効率的なカード募集体制の構築など、様々な取り組みを行っています。

特に効率的なカード募集体制の構築につきましては、営業所体制の抜本的な見直しやネット主体の募集体制の構築、提携先企業によるカード募集の推進など、様々な角度からの取り組みを実施しています。

今後のローコストオペレーションへの取り組みとしては、与信管理及び債権管理機能の強化による延滞・貸倒の抑制、特典・サービスの適正化などを行い、コスト削減に努めてまいります。

中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表 (要旨)

(単位: 百万円)

科目	前期 (2008年2月29日現在)	当中間期 (2008年8月31日現在)
資産の部		
流動資産	214,099	212,335
現金及び預金	21,575	10,946
割賦売掛金	56,689	64,595
営業貸付金	138,557	139,331
繰延税金資産	4,608	4,901
その他	8,338	8,239
貸倒引当金	△ 15,670	△ 15,680
固定資産	8,131	8,032
有形固定資産	354	307
無形固定資産	5,060	4,836
投資その他の資産	2,715	2,888
資産合計	222,230	220,367
負債の部		
流動負債	88,844	82,967
固定負債	83,829	87,009
負債合計	172,674	169,976
純資産の部		
株主資本	49,554	50,362
資本金	11,268	11,268
資本剰余金	12,730	12,730
利益剰余金	26,855	27,662
自己株式	△ 1,299	△ 1,299
評価・換算差額等	0	28
純資産合計	49,555	50,390
負債・純資産合計	222,230	220,367

▶POINT・割賦売掛金

割賦売掛金は前期末に比べ、約79億円増加の645億95百万円となりました。増加した主な要因としてはショッピング取扱高が増加したことに加え、ショッピングリボ拡大施策が前期に引き続き好調に推移したためであります。

▶POINT・固定負債

資金調達が多様化を目的として、ショッピングリボ債権の流動化を実施したことなどから、固定負債は前期末に比べ約31億円増加の870億9百万円となりました。

(注) 1.記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

中間連結損益計算書 (要旨)

(単位: 百万円)

科目	前中間期 (2007年3月1日から 2007年8月31日まで)	当中間期 (2008年3月1日から 2008年8月31日まで)
営業収益	20,253	19,571
営業費用	17,698	18,232
営業利益	2,555	1,338
営業外収益	6	9
営業外費用	11	5
経常利益	2,550	1,342
特別利益	—	615
特別損失	695	132
税金等調整前中間純利益	1,855	1,825
法人税、住民税及び事業税	2,609	1,269
法人税等調整額	△ 1,829	△ 502
中間純利益	1,076	1,058

(注) 1.記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

2.当社は前第3四半期より連結財務諸表を作成しておりますので、前中間期までは個別業績数値を掲載しております。

中間連結株主資本等変動計算書

(2008年3月1日から2008年8月31日まで)

(単位: 百万円)

	株主資本				評価・換算差額等		純資産合計	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金		評価・換算 差額等 合計
2008年2月29日残高	11,268	12,730	26,855	△ 1,299	49,554	0	0	49,555
中間連結会計期間中の変動額								
剰余金の配当			△ 251		△ 251			△ 251
中間純利益			1,058		1,058			1,058
自己株式の取得				△ 0	△ 0			△ 0
自己株式の処分		△ 0		0	0			0
株主資本以外の項目の中間連結 会計期間中の変動額 (純額)					—	27	27	27
中間連結会計期間中の変動額合計	—	△ 0	807	△ 0	807	27	27	835
2008年8月31日残高	11,268	12,730	27,662	△ 1,299	50,362	28	28	50,390

(注) 1.記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

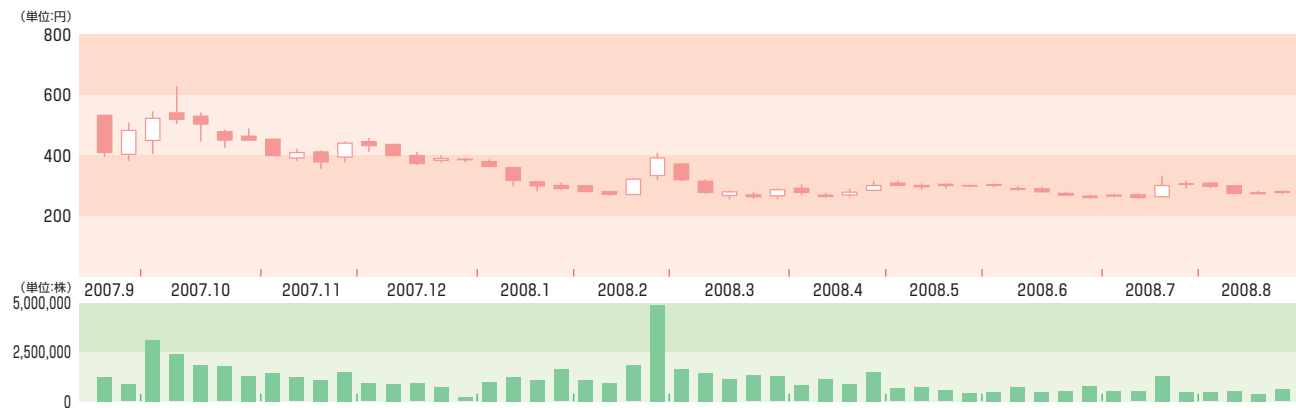
株式情報 (2008年8月末現在)

会社の発行可能株式総数 158,150,000株
発行済株式の総数 60,270,444株
当中間期末株主数 11,103名

大株主 (2008年8月末現在)

株主名	所有株式数 (千株)	所有比率 (%)
三洋信販株式会社	24,834	41.20
伊藤忠ファイナンス株式会社	12,455	20.67
株式会社三井住友銀行	2,954	4.90
ノーザントラストカンパニー(エイブイエフシー) サブアカウントアメリカンクライアント	1,893	3.14
伊藤忠商事株式会社	1,360	2.26
ポケットカード株式会社	1,069	1.77
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	905	1.50
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	872	1.45
インターザサンパオロスピーエークライアント オムニバスアカウント	525	0.87
住友信託銀行株式会社	446	0.74

株価・出来高チャート



株主メモ

事業年度 毎年3月1日から翌年2月まで
定時株主総会 毎年5月
基準日 定時株主総会 毎年2月末日
 期末配当金 毎年2月末日
 中間配当金 毎年8月31日
 その他必要があるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます
株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所 東京都中央区八重洲二丁目3番1号
 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) (住所変更等用紙のご請求)
 ☎0120-175-417
 (その他の照会)
 ☎0120-176-417
(インターネット) http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/
 (ホームページURL) retail/service/daiko/index.html
同取次所 住友信託銀行株式会社 本店及び全国各支店
単元株式数 100株
公告方法 電子公告
 ただし、事故やその他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします
金融商品取引所 東京・大阪両証券取引所 市場第1部

会社概要 (2008年8月末現在)

社名 ポケットカード株式会社
英文名 POCKETCARD CO., LTD.
本店所在地 〒105-0014 東京都港区芝一丁目5番9号
電話番号 03-5441-3450 (代表)
ホームページURL http://www.pocketcard.co.jp
設立 1982年5月25日
資本金 112億6,844万円
従業員数 426名
事業内容 ・割賦購入斡旋業及び割賦債権買取業
 ・金銭貸付業
 ・その他
貸金業登録番号 関東財務局長 (9) 第01301号
割賦購入あっせん業者登録番号 関東第129号

役員の状況 (2008年8月末現在)

取締役会長	松本 睦彦
代表取締役社長	都筑 誠一
取締役兼専務執行役員	渡辺 恵一
取締役兼常務執行役員	今里 賢治
取締役兼常務執行役員	雪邊 博隆
取締役	矢野 正彦
常勤監査役	草野 元彦
監査役	長谷 一雄
監査役	稲光 孝彰
監査役	森 博彰
常務執行役員	浮海 正高
執行役員	市瀬 友洋
執行役員	湯村 雅喜
執行役員	小林 直人
執行役員	林田 義典
執行役員	落合 英幸
執行役員	小幡 耕一
執行役員	大野 正幸

(注) 1. 取締役雪矢正隆は、社外取締役であります。
 2. 監査役長谷一雄、稲光孝及び森博彰は、社外監査役であります。

株主優待制度のご案内

優待の内容
 毎年2月末日及び8月31日時点の当社株主名簿に記載された1単元(100株)以上の株式を保有する個人の株主さまで、当社の発行するカードをお持ちいただいている方を対象に、保有株数に応じてポケットポイントを贈呈いたします。

保有株数	贈呈ポイント
100株以上200株未満	年間 250ポイント (1回あたり125ポイント)
200株以上1,000株未満	年間 500ポイント (1回あたり250ポイント)
1,000株以上2,000株未満	年間 1,000ポイント (1回あたり500ポイント)
2,000株以上	年間 1,500ポイント (1回あたり750ポイント)

※上記は年間(2回分)の贈呈ポイント合計になります。
 ※当社が発行するポケット・ポイント・プログラム対応カードをお持ちの方が対象となります。(一部対象外のカードがあります)

お申込方法
 毎年5月末頃に送付する年次報告書及び11月上旬頃に送付する中間報告書に同封する*「株主優待制度お申込書」に、ポイント贈呈を希望するカード番号等を記載の上、当社宛にご送付いただくことで優待制度にお申し込いただけます。

なお、ポイントの贈呈は2月分については7月中旬頃、8月分については1月中旬頃行います。

※株主優待制度の対象となる100株以上ご所有の株主さまのみご送付しております。

ポケット・ポイント・プログラムについて
 カードご利用金額1,000円ごとに1ポイントを付与。貯めたポイントをステキな商品と交換いただけるポケットカード独自のポイントプログラムです。

株主優待制度に関するお問い合わせ先

ポケットカードお客さまセンター
 TEL : 0120-12-9255
 受付時間 9:00~18:00

株券の電子化について

平成21年1月より、当社を含む上場会社の株券電子化が実施される予定です。

株券が電子化されると、お手元に保管されている株券が無効になるおそれがあります。

まだ所定のお手続きがお済みでない、もしくは株券の電子化についてご不明な点などがございましたら弊社株主名簿管理人または下記までお問い合わせください。

日本証券業協会 証券決済制度改革推進センター
 TEL : 03-3667-4500 (平日9:00~17:00)
 URL : http://www.kessaicenter.com